

教 育 局

教育委員会・総合学習センター

教 育 委 員 会	……	357
総 合 学 習 セ ン タ ー	……	358

教 育 委 員 会

1 概要

教育委員会は、教育の中立性を維持し、教育・学術・文化の振興を図るために設置された執行機関である。学校、公民館、博物館、図書館等の教育財産の管理、校舎その他の施設及び教具等の整備、教育機関の職員の任免や研修、児童・生徒の入退学、学校の組織編成、教育課程、教材の取扱い、学校等の保健、衛生、学校給食、生涯学習の諸事業・スポーツ振興等に関する事務を所管し、執行している。

教育委員会は、市長が議会の同意を得て任命する 5 人の委員(うち 1 名は教育長)で組織され、委員の任期は 4 年である。

教育委員会の権限に属する事務を処理するために、教育長の統括の下に事務局が置かれている。

2 教育委員会委員

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

職 名	氏 名	任 期
委 員 長	永 井 博	自 平 26.10.1 至 平 30.9.30
委員長職務代理者	大 山 宜 秀	自 平 27.10.1 至 平 31.9.30
委 員	田 中 美 奈 子	自 平 24.10.1 至 平 28.9.30
委 員	福 田 須 美 子	自 平 25.10.1 至 平 29.9.30
教 育 長	岡 本 実	自 平 24.10.1 至 平 28.9.30

3 平成 27 年度教育委員会実績

(1) 開催状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12回
臨時会	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	3	5回

(2) 議決状況

事項	条例	規則	訓令	人事	予算	その他
件数	16	15	0	23	4	16

【教育総務室】

総合学習センター

市民の生涯学習活動を支援するとともに、学校教育及び社会教育の向上に必要な調査、研究及び研修を総合的にを行い、生涯学習社会の実現を図ることを目的として設立。

1 施設の概要

- ・所在地：相模原市中央区中央3丁目12番10号
- ・建物の構造：鉄筋コンクリート造4階建
- ・敷地面積：2,160㎡
- ・延床面積：3,414㎡
- ・開所年月日：平成13年4月21日
- ・主な施設：センター事務室、学習情報事務室、研究・研修事務室、教育支援事務室、研究室1・2、パソコンルーム、交流ラウンジ、相談室、保育室、図書閲覧室、図書資料室

市民の利用に供する部屋(有料)

室名	定員(人)	室名	定員(人)	室名	定員(人)
大会議室	204	多目的室	20	小会議室4	16
セミナールーム	72	小会議室1・2・3	各24	和室1・2	各20

2 学社連携・協働

(1) 学社連携・協働の推進

「人間性豊かな子どもの育成」と「生き生きとした市民の活動」を通じた、よりよいまちづくり及び生涯学習社会の実現に向け、学校、家庭、地域社会が一体となって連携・協働を推進していくための体制づくりを図った。

(2) 学校と地域の協働推進事業

3年間のモデル事業を経て、平成25年度から小学校3校、中学校3校の計6校に「学校と地域の協働推進コーディネーター」を配置し、学校を中心とした地域団体等との連絡組織に事業を委託する中で、協働推進体制の構築に向けた取り組みの充実を図った。

- 緑区：藤野小学校・内出中学校
- 中央区：淵野辺東小学校・共和中学校
- 南区：南大野小学校・東林中学校

(3) 研修・人材育成

ア 「学校と地域の協働推進コーディネーター」研修会

事業の内容やコーディネーターとしての留意事項を「学校と地域の協働推進コーディネーターガイドブック」等を通して確認するとともに、各学校における活動実践の情報交換を通して協議を行い、コーディネーターの資質向上を図った。(全体会3回、他校の活動状況視察)

イ 学校支援ボランティア入門・実践講座

学校教育課と連携し、学校支援ボランティア活動の意義や基本的な知識について学習する機会を提供するとともに、グループ協議を通して参加者相互の情報交換を行った。

(4) 情報の収集・提供

学社連携・協働にかかわる情報の収集を行い研修会等に反映させるとともに、各学校における活動の様子を「総合学習センターだより」やホームページを通して紹介し、事業及びコーディネーターの周知を図った。

3 研究・研修

(1) 研究事業

ア 教育研究員研究

本市の学校教育・社会教育の向上を図るため、学校・地域社会における今日的な教育課題を積極的に取り上げ、組織的、計画的な調査研究を実施した。研究成果は「教育研究集録」に掲載するほか教育研究発表大会において教職員・市民・関係機関等へ広く公表した。

イ 教育実践研究論文

子どもの教育（学校教育・幼児教育、社会教育）に関する自主的な研究活動を奨励するため、教育実践論文を募集し、審査委員会で選考の上、教育長賞、優秀賞、奨励賞を設け表彰を行った。入賞した研究論文は「教育研究集録」や総合学習センターホームページに掲載して紹介するとともに、教育研究発表大会において発表した。

ウ 教育研究発表大会

「ともに見つけ、ともに創る子どもの未来」をテーマに、日頃の教育研究、研修及び実践等の成果を発表及び協議し、子どもたちの健やかな育成のため、子どもにかかわる様々な立場の人がお互いの役割や協力について市民とともに考える機会として開催した。

8月19日(水)に市民会館ほか周辺5会場にて開催。

全体会・記念講演：924名参加 分科会発表(29本)：1,125名参加

(2) 研修事業

目指す教師像を「教育愛に燃え社会の中で学びつづける教師」、必要な資質能力を「教育職としての本質に迫る力」「子ども理解と個・集団を育てる力」「専門性を高める力」「マネジメント力を高める力」とし、教職員研修を5つのカテゴリーに体系化して実施した。

区分	研修名		講座数	日数	参加者	研修目的
ライフステージに応じた研修	初任者・新採用研修講座	初任者研修講座	2	15	3,150人	教員個々のライフステージに沿った系統的・重点的な研修を行うことにより、教職員の資質向上を図った。
		養護教諭新採用研修講座		12		
	フォローアップ研修講座	フォローアップ研修講座	2	7		
		養護教諭フォローアップ研修講座		6		
	3年次研修講座	3年次研修講座	2	5		
		養護教諭3年次研修講座		4		
	5年次研修講座	5年次研修講座	2	6		
		養護教諭5年次研修講座		4		
	10年経験者研修講座	10年経験者研修講座	2	8		
		養護教諭10年経験者研修講座		8		
新任栄養教諭研修講座		1	6			
幼稚園教諭	幼稚園教諭新採用研修講座	2	10			
	幼稚園教諭10年経験者研修講座		10			
学校運営・経営研修	管理職研修講座	校長研修講座	2	2	1,420人	管理職としての職務や教育に対する識見を高め、資質・指導力の向上を図った。
		教頭研修講座		2		
	新任管理職研修講座	新任校長研修講座	2	8		
		新任教頭研修講座		10		
	学校運営推進者研修講座		2	2		
新任学校運営推進者研修講座		2	5			

区分	研修名		講座数	日数	参加者	研修目的
専門研修	教科領域研修	学習指導要領研修講座	5	13	1,707人	教科や領域にかかわる実践的指導力の向上を図った。
		公開授業研修講座		10		
		技能研修講座		14		
		伝達研修講座		12		
	支援教育研修	特別支援学級新担任者研修講座	3	5	647人	支援教育に対する理解を深め、資質・能力の向上を図った。
		支援教育コーディネーター研修講座		1		
		特別支援教育スキルアップ研修講座		5		
		支援教育コーディネータ新担当者研修講座		3		
	情報教育研修	情報教育担当者研修講座	6	1	879人	児童生徒及び教職員のICT活用力を培うための研修を実施し「学校の情報化」の推進を図った。
		ICT活用授業づくり研修講座		19		
		デジタル教材作成研修講座		4		
		情報セキュリティ研修講座		1		
		情報モラル研修講座		1		
		校務支援研修講座		32		
	教育課題研修	今日的教育課題研修講座	10	5	1,108人	様々な教育課題に適切に対応できる資質・能力の向上を図った。
		新・小学校1年担任研修講座		1		
		新・学年運営推進者研修講座		4		
		新・校内研究推進者研修講座		5		
		新・道徳教育推進者研修講座		3		
		学校安全管理研修講座		2		
児童生徒指導研修講座		2				
人権福祉教育研修講座		2				
学校図書司書教諭研修講座		1				
臨時的任用職員研修講座		5				
学校への訪問支援研修	学校の要請に応じた指導主事等の訪問	22	22	1,476人	指導主事等が学校を訪問し、学校のニーズに応じた支援を行った。 *印は学校からの要請・希望による	
	校内研修支援研修講座	20	20			
	情報教育訪問サポート研修講座	1	57			
	教育実践相談	*	*			
特別研修	県外委託研修	6	5	21人	本市教育の質的向上・発展に資するために、市内外の教育機関等で実践的な研修を行った。 *研修ごと	
	情報教育特別研修		5			
	幼稚園派遣研修		5			
	長期派遣研修		1年			
	独立行政法人研修機関主催研修		*			
	特別支援教育大学派遣研修座		1年			

区分	研修名		講座数	日数	参加者	研修目的
職 能 研 修	学校 事務 職員	学校事務職員研修講座	3	2	533人	それぞれの専門性に応じて必要とされる知識・技能の向上を図った。
		学校事務職員新採用研修講座		7		
		学校事務職員フォローアップ研修講座		2		
	学校 栄養 職員	学校栄養職員新採用研修講座	6	7		
		学校栄養職員フォローアップ研修講座		2		
		学校栄養職員3年次研修講座		2		
		学校栄養職員5年次研修講座		4		
		学校栄養職員10年次研修講座		9		
		学校栄養職員研修会		1		
		給食調理員研修会	1	1		
		学校技能員研修会	1	1		
		介助員研修会	1	1		

4 学習機会の提供・相談機能

(1) 市民大学

15歳以上（中学生を除く）の市民を対象に、市内及び近隣の高等教育機関の機能を生かした学習機会を提供した。昨年度は開設50周年を迎え、記念式典・記念講演会、特別講座3講座を実施するとともに記念誌を発行した。

市民大学50周年記念式典・記念講演を開催。 受講者数：76名

15高等教育機関、2行政コースで33講座を開催（記念特別講座含む）

受講者数：1,755名（申込者数：2,127名）

開催学校：相模女子大学、麻布大学、和泉短期大学、女子美術大学、北里大学、医療ビジネス観光情報専門学校、桜美林大学、青山学院大学、多摩美術大学、東京家政学院大学、東京女学館大学、法政大学、サレジオ工業高等専門学校、玉川大学、和光大学

その他：相模原市総合学習センター、座間市生涯学習課

(2) 研究機関等公開講座

市内の研究機関等と連携し、それぞれの機能と専門性を生かしながら15歳以上（中学生を除く）の市民を対象に学習機会を提供した。

受講者数 外務省研修所：92名

東京国立近代美術館フィルムセンター相模原分館：34名

国民生活センター：13名

宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所：46名

(3) 生涯学習まちかど講座

市民の活動の場に出向き、相模原市の市政や業務上の専門的な知識等について市職員が講義を行った。

121講座：4,515名

(4) 講座事業

現代的な課題や社会の要請に基づく課題、広域的な事業、試行的な意味合いでの事業の実施を基本に学習機会を提供した。3講座：延べ79名

(5) 学習活動の場の提供

ア 総合学習センターの施設提供

市民の学習活動の場として、大会議室・セミナールーム等の有料施設や交流ラウンジ等を提供した。

イ 図書閲覧室・図書資料室の運営

図書館システムを利用した図書の貸出、返却及びリクエストを行った。

ウ ミニ・アートギャラリーの実施

市民の生涯学習の成果を発表する場とするため、総合学習センターの1階（交流ラウンジ）2階（エレベーターホール）を作品展示場所として提供した。展示団体：54団体

エ 学習相談コーナー、サークル・団体情報コーナーの設置

生涯学習施設のパンフレット等の収集及び情報提供を行った。

サークルや個人の学習活動の輪を広げるために、学習サークル・団体の活動情報や会員募集等を周知するサークル・団体コーナーと相談に応える学習相談コーナーを設置した。

(6) 学習相談

ア 生涯学習相談

市民の生涯学習にかかわる相談、支援を生涯学習推進員が中心となり行った。

相談件数：271件

イ 教育実践相談

教員を対象に、授業実践・校内研究等、教育現場の様々な悩みについて、指導主事が相談を受け、資料や関係機関の紹介を行った。（随時）

ウ 学校経営相談

校長の職歴をもつ嘱託職員が、教育目標の具現化に向けての経営相談、学校経営上起こりうる諸課題等への相談や支援を行った。（随時）

5 学習情報の収集・提供

(1) 刊行物による情報の提供

ア 「さがみはら教育」の発行（年2回 9月 3月）

今日的な教育課題を特集し、データや実践例等の相模原の実態を伝えた。

イ 「総合学習センターだより」の発行（年3回）

総合学習センターの活動はもとより、学校・地域の情報を「学社連携・協働」の視点に立ち積極的に情報発信を行った。

ウ 「教職員研修ブログ」の作成

エ 副読本の発行

児童生徒の学びや家庭教育を支援するために各種教育にかかわる副読本を発行した。

名 称	配布対象	備 考
小学校社会科副読本「さがみはら」	小学校3年生	平成27年4月 部分改訂版発行
中学校社会科副読本「私たちの相模原」	中学校1年生	平成27年4月 部分改訂版発行
家庭でできる性教育読本「さわやか」	小学校4年生保護者	平成27年4月 部分改訂版発行

名 称	配布対象	備 考
家庭でできる性教育読本「さわやか」ダイジェスト版	小学校1年生保護者	平成27年4月 部分改訂版発行
防災教育副読本「災害 ― その時わたしたちは ―」 (改訂版)	小学校1年生・4年生・ 中学校1年生	平成27年4月 部分改訂版発行

(2) 電子媒体等による情報の提供

- ア 総合学習センターホームページ
センターの事業概要、研究・研修講座の内容等、教育に関する様々な情報を掲載した。
- イ 生涯学習情報システムによる情報提供
生涯学習に関する様々な情報を発信した。
提供している主な内容：講座・イベント情報、指導者・人材情報、団体・サークル情報、施設情報、
資格・試験情報、学習相談

(3) 教育資料の収集・提供

- ア 教育図書及び本市・他機関の教育研究資料の収集・提供を行った。
- イ 学習指導案・各種研究物等の収集・閲覧・貸出を行った。

6 情報教育の推進

(1) 「学校間ネットワーク」の活用環境の整備

- ア 「学校間ネットワーク」機能の充実のためのセンターサーバ維持管理
総合学習センターのサーバ機能を充実し、安定したネットワーク環境の整備を進めた。
- イ 学校へのパソコンなどの情報機器の整備
コンピュータ教室・図書室・特別支援学級のPC機器更新を行い、図書室には検索用タブレットPC、
特別支援学級へは学習用タブレットPCを導入した。

(2) 「学校間ネットワーク」の効果的な運営

- ア 「学校間ネットワーク」機能の充実・改善と保守
コンピュータ教室更新・特別支援学級更新校において、教室内の無線LAN環境を実現し、タブレットPCの利活用を図った。
- イ 教職員グループウェア「e-ネットSAGAMI」の機能の充実と活用の促進
校務の情報化を進めるための機能の追加を行った。
- ウ 学校ホームページの活用機能改善と活用・更新支援
学校ホームページの定期的な更新の支援を行った。
- エ 「さがみはらスタディメイト」による、子どもの学習に役立つ情報提供
市の子ども向けホームページ「さがみはらキッズ」との連携による情報発信や教科に役立つリンク集の
整理を行った。
- オ 「学校の情報化推進計画」の具現化に向けた検討
学校の情報化推進検討会を実施し校務サーバ及びセンターサーバのデータセンター化また、小学校校務
支援システム導入について検討した。
- カ 情報教育推進事業「新たな学びを創造するICTさがみはらスタイル」
市立小・中学校モデル校4校(小2校・中2校)に16台(教師用6台・児童生徒用10台)のタブレット
PCを導入し、児童生徒の関心・意欲の高まりや学力向上等について、タブレットPCの効果的な利活用
や導入に向けた課題について研究及び検証を行い、さがみはら教育160号に中間報告としてまとめた。

(3) 情報活用を進める研修・支援の推進

ア 新たな情報教育の研修体系による研修の充実

(ア) ICT活用授業づくり研修講座 (年17回)

(イ) デジタル教材作成研修講座 (年3回)

(ウ) 情報セキュリティ研修講座 (年1回)

(エ) 情報モラル研修講座 (年1回)

(オ) 校務支援研修講座 (年31回)

イ 学校への訪問支援研修

指導主事が学校訪問し、情報セキュリティ、情報モラル、ICT活用等に関する研修を行った。

ウ ICT機器の貸出事業

総合学習センターにおいて学習用タブレットPC (11台)、テレビ会議用タブレットPC (2台)、デジタルペン (2セット)、電子黒板機能付プロジェクター (1台)を整備し学校への貸出事業を実施した。

エ 情報教育担当者研修講座 (年間1回)

学校教育でのコンピュータの有効利用を図るため、各校における情報教育を推進している担当者と指導主事による協議・研修を行った。

カ コンピュータアドバイザーの配置 (年間：小学校14回・中学校12～33回)

コンピュータアドバイザーを市立小・中学校に配置し、コンピュータの活用相談、ホームページの作成・更新の支援、機器操作の指導及び補助を行った。

キ 学校ホームページ作成相談(随時)

市立小・中学校のホームページ作成・更新のために、学校の要請に応じ相談や支援を行った。

ク 情報セキュリティ監査

市立小・中学校の情報セキュリティ対策の遵守状況の点検・評価及び教職員の意識向上を図る目的で実施した。(19校)

(4) 市民のためのIT活用研修・支援の推進

ア 市民向け研修

目の不自由な人のパソコン体験講座を行った。

イ 市民の研修活動の支援

市民向けパソコン講習会・相談会等の支援を行った。

7 生涯学習ネットワーク

(1) 生涯学習関連行政・機関等との連携・協働を促進

各課・機関や公益事業者などの生涯学習に関する情報やサービスを集約し、連携・協働による一層充実した学習機会の提供を促進した。

(2) 市民講座の創造

市民団体と行政提案型協働事業として、平成22～24年度まで事業を行った。平成25年度からは、今まで活動に参加してきた市民と協力し「市民講座支援事業」として活動を継続している。

ア 講座の講師や企画・運営を希望する市民を対象に研修講座を実施し、自らが講座を実施できるように支援を行った。受講者数4名

研修講座・講義編 13回

研修講座・実践編 4講座 (企画数4 講座参加者数延べ46名)

イ 市民による市民のための講座が本格的に創設されるような支援事業を実施した。

市民講座実施数 38講座 (講座参加者数延べ575名)

8 人材養成

さがみ風っ子教師塾

第6期から現職教員を対象とした「スキルアップコース」を開設しており、第7期も市立小・中学校教員を強く志望する大学生、社会人等を対象とした「チャレンジコース」とあわせ2コース制で実施した。

チャレンジコースでは、さがみはら教育の魅力を学び、その発展と充実に寄与しようとする強い意志と、教育への情熱、使命感、幅広い教養をもった心豊かな人材を育成した。

また、スキルアップコースの前期では、講義型の学びを通して相模原の特色を新たな視点から見つめ、より深く理解した。

さらに後期には、自分の高めたい力や学びたいことをテーマに、自ら計画し活動を進める企画立案型の学びを通して、企画力やマネジメント力の向上を図った。

運営内容

	チャレンジコース	スキルアップコース
開塾期間	平成27年10月～平成28年3月	平成27年8月～平成28年3月
開塾日・回数	土曜日全日 計16回	土曜日半日 計10回
塾生数	57名	9名(現職教員)
講師	塾長、専任講師、外部講師、現職教員、保護者、指導主事等	
内容	講義、グループ協議、学校実習、 模擬授業等	前期4回：講義、グループ協議 後期6回：企画立案型の学び
受講料	10,000円	2,500円

